

最終ゴールは、生徒の笑顔

天水中学校便り 2号

令和元年5月27日

校長 中村浩二

笑顔の花が咲きました！ ～令和元年度体育大会～



笑顔①《青団》

笑顔②《赤団》

去る5月19日（日）、『『百花繚乱』～新時代、笑顔の花を咲かせよう！～』のスローガンのもと、天水中学校体育大会が開催されました。スローガンには、天水中の生徒一人ひとりが、競技や応援に一生懸命取り組み、それぞれに大きな色とりどりの笑顔の花を咲かせようという思い、また、令和という時代を迎え、気持ちも新たに新時代を駆け抜けたいたいという思いが込められています。

当日は、あいにくの雨のため、一部プログラムを変更しながら進めました。しかし、生徒たちは、突然の変更に戸惑うこともなく、練習の成果を十二分に発揮し、まさに笑顔が満開になるような大会になりました。また、観覧席の来賓、保護者及び地域の方々にもたくさんの笑顔の花を咲かせてくれました。生徒のみんな、お疲れ様でした！そして、ありがとう！

あいさつの花も咲いています！ ～あいさつの力は無限大～

例年、この時期になると、県内の高校の先生方や学校の関係機関のお客様が、年度初めの挨拶のため来校されます。5月のある日、ある高校の先生が挨拶に来られました。15分間ほど校長室で話をして帰られました。しばらくして、その先生から電話がありました。「昇降口に座って作業をしていた女の子3人が、わざわざ立って、私に体を向けて、笑顔で挨拶をしてくれました。うれしくなって、電話をしました。今日、天水中に来て本当に良かったです。ありがとうございました。」

その先生は、おそらく、高校に帰って、高校の先生方に話をされるでしょう。天水中の卒業生に話をされるでしょう。・・・想像してみてください。うれしくなりますよね。生徒たちに、あいさつの力を教えてもらった出来事でした。あいさつの力は無限大ですね。